

2021年4月5日

お客さま 各位

鳥取信用金庫

法人キャッシュカード規定の改定のお知らせ

平素は、鳥取信用金庫をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当金庫では、2021年4月5日（月）よりローソン銀行で法人キャッシュカードが利用可能となったことから、「法人キャッシュカード規定」を、下記のとおり改定いたしましたのでお知らせします。

記

1. 改定の内容

法人キャッシュカード規定
<p>1. (カードの利用)</p> <p>普通預金（利息を付さない旨の約定のある普通預金を含みます。以下「預金」といいます。）について法人のお客様に発行したキャッシュカード（以下「カード」といいます。）は、当該預金口座について、次の場合に利用することができます。</p> <p>①当金庫、しんきんネットキャッシュサービス加盟の信用金庫、ゆうちょ銀行およびローソン銀行（以下「預入提携先」といいます。）の現金自動預金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。）を使用して預金に預入れをする場合</p> <p>②当金庫、しんきんネットキャッシュサービス加盟の信用金庫、ゆうちょ銀行およびローソン銀行（以下「支払提携先」といいます。）の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。）を使用して預金の払戻しをする場合</p> <p>(略)</p>

2. 改定日

2021年4月5日（月）

3. 【別紙】法人キャッシュカード規定（2021年4月5日改定）

以上

法人キャッシュカード規定

1. (カードの利用)

普通預金（利息を付さない旨の約定のある普通預金を含みます。以下「預金」といいます。）について法人のお客様に発行したキャッシュカード（以下「カード」といいます。）は、当該預金口座について、次の場合に利用することができます。

- ①当金庫、しんきんネットキャッシュサービス加盟の信用金庫、ゆうちょ銀行およびローソン銀行（以下「預入提携先」といいます。）の現金自動預金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。）を使用して預金に預入れをする場合
- ②当金庫、しんきんネットキャッシュサービス加盟の信用金庫、ゆうちょ銀行およびローソン銀行（以下「支払提携先」といいます。）の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。）を使用して預金の払戻しをする場合
- ③当金庫、しんきんネットキャッシュサービス加盟の信用金庫（以下「振込提携先」といいます。）の自動振込機（振込を行うことができる現金自動預入払出兼用機を含みます。）を使用して振込資金を預金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合

なお、本号および前2号の現金自動預金機、現金自動支払機および自動振込機を総称して以下「ATM」といいます。

- ④その他当金庫所定の取引をする場合

2. (ATMによる預金の預入れ)

- (1) ATMを使用して預金に預入れをする場合には、ATMの画面表示等の操作手順に従って、ATMにカードまたは通帳を挿入し、現金を投入して操作してください。
- (2) ATMによる預入れは、ATMの機種により当金庫または預入提携先所定の種類の紙幣および硬貨に限ります。また、1回あたりの預入れは、当金庫または預入提携先所定の枚数による金額の範囲内とします。

3. (ATMによる預金の払戻し)

- (1) ATMを使用して預金の払戻しをする場合には、ATMの画面表示等の操作手順に従って、ATMにカードを挿入し、届出の暗証番号および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。
- (2) ATMによる払戻しは、ATMの機種により当金庫および支払提携先所定の金額単位とし、1回あたりの払戻しは、当金庫および支払提携先所定の金額の範囲内とします。なお、1日あたりの払戻しは当金庫所定の金額の範囲内とします。
- (3) 前項にかかわらず、当金庫支払提携先支払機による1日あたりの払戻しについて当金庫が法人から当金庫所定の方法により届出を受けた場合には、その届出の金額の範囲内とします。

ただし、届出の金額は当金庫所定の金額の範囲を超えることはできません。

- (4) 当金庫および支払提携先のATMによる1日あたりの払戻回数について当金庫が

法人から当金庫所定の方法により届出を受けた場合には、その届出の回数の範囲内とします。

ただし、届出の回数は当金庫所定の回数の範囲を超えることはできません。

- (5) ATMを使用して預金の払戻しをする場合に、払戻請求金額と第5条第2項に規定するATM利用手数料金額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。

4. (ATMによる振込)

- (1) ATMを使用して振込資金を預金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、ATMの画面表示等の操作手順に従って、ATMにカードを挿入し、届出の暗証番号その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における預金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。

- (2) 前項の振込依頼をする場合における1回あたりの振込は、当金庫または振込提携先所定の金額の範囲内とします。なお、1日あたりの振込は当金庫所定の金額の範囲内とします。

- (3) 前項にかかわらず、第1項の振込依頼をする場合における当金庫および振込提携先のATMによる1日あたりの振込について、当金庫が法人から当金庫所定の方法により届出を受けた場合には、その届出の金額の範囲内とします。

ただし、届出の金額は当金庫所定の金額の範囲を超えることはできません。

- (4) 第1項の振込依頼をする場合における当金庫および振込提携先のATMによる1日あたりの振込回数について当金庫が法人から当金庫所定の方法により届出を受けた場合には、その届出の回数の範囲内とします。

ただし、届出の回数は当金庫所定の回数の範囲を超えることはできません。

- (5) ATMを使用して振込をする場合、振込金額と振込手数料（消費税を含む。以下、同じ。）金額およびATM利用手数料金額の合計額が、払戻すことのできる金額をこえるときは、その振込はできません。

5. (ATM利用手数料等)

- (1) ATMを使用して預金に預入れをする場合には、当金庫または預入提携先所定のATMの利用に関する手数料（消費税を含む。以下同じ。）をいただきます。

- (2) ATMを使用して預金の払戻しをする場合には、当金庫または支払提携先所定のATMの利用に関する手数料（前項の手数料とこの手数料を総称して、以下「ATM利用手数料」といいます。）をいただきます。

- (3) ATM利用手数料は、預金の預入れおよび払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その預入れ・払戻しをした預金口座から自動的に引落します。なお、預入提携先または支払提携先のATM利用手数料は、当金庫から預入提携先または支払提携先に支払います。

- (4) 振込手数料（消費税含む。以下同じ。）は、振込資金の預金口座からの払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その払戻しをした預金口座から自動的に引落します。なお、振込提携先金庫の振込手数料は、当金庫から振込提携先に支払います。

6. (代理人による預金の預入れ・払戻しおよび振込)

代理人カードは発行いたしません。

7. (ATM故障時等の取扱い)

- (1) 停電、故障等によりATMによる取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当金庫本支店の窓口でカードにより預金に預入れをすることができます。
- (2) 停電、故障等により支払機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当金庫がATM故障時等の取扱いとして定めた金額を限度として当金庫本支店の窓口でカードにより預金の払戻しをすることができます。
- (3) 第1項による預入れをする場合には、カードを提出し、当金庫所定の入金票にカードの口座番号、法人名、代表者名、金額を記入のうえ、当金庫所定の手続に従ってください。また、第2項による払戻しをする場合には、カードを提出し、当金庫所定の払戻請求書にカードの口座番号、法人名、代表者名、金額を記入のうえ、当金庫所定の手続に従ってください。この場合、払戻請求書に所在地、電話番号等の記入を求めることがあります。
- (4) 停電、故障等によりATMによる取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、前2項によるほか振込依頼書を提出することにより振込の依頼をすることができます。

8. (カードによる預入れ・払戻し金額等の通帳記入)

カードにより預入れた金額、払戻した金額、ATM利用手数料金額または振込手数料金額の通帳記入は、通帳が当金庫のATMで使用された場合または当金庫本支店の窓口で提出された場合に行います。また、窓口でカードにより取扱った場合にも同様とします。なお、預入れまたは払戻した金額とATM利用手数料金額および振込手数料金額は別に通帳に記入します。

9. (カード・暗証番号の管理等)

- (1) 当金庫は、ATMの操作の際に使用されたカードが、当金庫が代表者に交付したカードであること、および入力された暗証番号と届出の暗証番号とが一致することを当金庫所定の方法により確認のうえ預金の払戻しを行います。
- (2) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証番号は法人または代表者の電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに代表者から当金庫に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる預金の払戻し停止の措置を講じます。
- (3) カードの盗難にあった場合には、当金庫所定の届出書を当金庫に提出してください。

10. (偽造カード等による払戻し等)

偽造または変造カードによる払戻しについては、法人の故意による場合または当該払戻しについて当金庫が善意かつ無過失であって法人に重大な過失があることを当金庫が証明した場合を除き、その効力を生じないものとします。

この場合、法人は、当金庫所定の書類を提出し、カードおよび暗証番号の管理状況、被害状況、警察への通知状況等について当金庫の調査に協力するものとします。

11. (盗難カードによる払戻し等)

(1) カードの盗難により、他人に当該カードを不正使用され生じた払戻しについては、次の各号のすべてに該当する場合、法人は当金庫に対して当該払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額の補てんを請求することができます。

- ①カードの盗難に気づいてからすみやかに、当金庫への通知が行われていること
- ②当金庫の調査に対し、法人より十分な説明が行われていること
- ③当金庫に対し、警察署に被害届を提出していることその他の盗難にあったことが推測される事実を確認できるものを示していること

(2) 前項の請求がなされた場合、当該払戻しが法人の故意による場合を除き、当金庫は、当金庫へ通知が行われた日の30日（ただし、当金庫に通知することができないうやむを得ない事情があることを法人が証明した場合は、30日にその事情が継続している期間を加えた日数とします。）前の日以降になされた払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額（以下「補てん対象額」といいます。）を補てんするものとします。

ただし、当該払戻しが行われたことについて、当金庫が善意かつ無過失であり、かつ、法人に過失があることを当金庫が証明した場合には、当金庫は補てん対象額の4分の3に相当する金額を補てんするものとします。

(3) 前2項の規定は、第1項にかかる当金庫への通知が、盗難が行われた日（当該盗難が行われた日が明らかでないときは、当該盗難にかかる盗難カード等を用いて行われた不正な預金払戻しが最初に行われた日。）から、2年を経過する日後に行われた場合には、適用されないものとします。

(4) 第2項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当することを当金庫が証明した場合には、当金庫は補てん責任を負いません。

- ①当該払戻しが行われたことについて当金庫が善意かつ無過失であり、かつ、次のいずれかに該当する場合
 - A 法人に重大な過失があることを当金庫が証明した場合
 - B 法人の役員、関係者および使用人によって行われた場合
 - C 法人が、被害状況についての当金庫に対する説明において、重要な事項について偽りの説明を行った場合
- ②戦争、暴動等による著しい社会秩序の混乱に乗じまたはこれに付随してカードが盗難にあった場合

12. (カードの紛失、届出事項の変更等)

カードを紛失した場合または法人名、代表者名その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに法人から当金庫所定の方法により当金庫に届出てください。

13. (カードの再発行等)

- (1) カードの盗難、紛失等の場合のカードの再発行は、当金庫所定の手続をした後に行います。この場合、照会状を発送することがあります。
- (2) カードを再発行する場合には、当金庫所定の再発行手数料をいただきます。

14. (ATMへの誤入力等)

- (1) ATMの使用に際し、金額等の誤入力により発生した損害については、当金庫は責任を負いません。なお、提携先のATMを使用した場合の提携先の責任についても同様とします。
- (2) カードによる窓口での預金の預入れまたは払戻しをする際に、当金庫所定の入金票または払戻請求書への金額等の誤記入により発生した損害については、当金庫は責任を負いません。

15. (解約、カードの利用停止等)

- (1) 預金口座を解約する場合またはカードの利用を取りやめる場合には、そのカードを当店に返却してください。また、当金庫普通預金規定により、預金口座が解約された場合にも同様に返却してください。なお、未処理取引のある場合は、その処理が終了するまで解約を延期させていただく場合があります。
- (2) カードの改ざん、不正使用など当金庫がカードの利用を不相当と認めた場合には、その利用をおことわりすることがあります。この場合、当金庫からの請求がありしだい直ちにカードを当店に返却してください。
- (3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、当金庫の窓口において当金庫所定の代表者確認書類の提示を受け、当金庫が代表者であることを確認できたときに停止を解除します。
 - ①第 16 条に定める規定に違反した場合
 - ②預金口座に関し、最終の預入れまたは払戻しから当金庫が別途表示する一定の期間が経過した場合
 - ③カードが偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当金庫が判断した場合

16. (譲渡、質入れ等の禁止)

このカードおよび契約上の地位その他このカードにかかるいっさいの権利およびカードは、譲渡、質入れその他第三者の権利を設定すること、または第三者に利用させることはできません。

17. (通知等)

届出のあった氏名、住所にあてて当金庫が通知または送付書類を発送した場合には、延着または到達しなかったときでも通常到達すべき時に到達したものとみなします。

また、お客様が正当な理由なく、意思表示の通知が到達することを妨げたときも、その通知は通常到達すべきであった時に到達したものとみなします。

18. (規定の適用)

この規定に定めのない事項については、当金庫普通預金規定および振込規定により取扱います。

19. (規定の変更)

(1) この規定の各条項その他条件は、金融情勢その他諸般の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、ホームページその他相当の方法で変更内容及び変更日を公表することにより、変更できるものとします。

(2) 前項の変更は、公表の際に定める相当の期間を経過した日から適用されるものとします。

以 上

(2021.04.05)